

# 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 江の川(下流)流域の減災に係る取組について

平成29年5月24日

江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会

〔 江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、  
松江地方气象台、国土交通省中国地方整備局 〕

1. 規約改正

2. 減災のための目標・実施方針

3. 平成28年度の実施状況（フォローアップ等含む）

4. 平成29年度の実施予定

5. 今後のスケジュール

# 1. 規約改正

○平成29年度の組織改正に伴い、江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策幹事会 構成員の一部における組織名・役職等の変更を行う。

○改正前(平成29年3月31日)

江津市 危機管理監

川本町 総務財政課長

美郷町 総務課長

邑南町 危機管理課長

島根県 防災部 防災危機管理課長

島根県 土木部 河川課長

気象庁 松江地方気象台 防災管理官

国土交通省 中国地方整備局  
浜田河川国道事務所 副所長



○改正後(平成29年4月1日)

江津市 危機管理監

川本町 総務財政課長

美郷町 総務課長

邑南町 **総務課長**

島根県 防災部 防災危機管理課長

島根県 土木部 河川課長

気象庁 松江地方気象台 防災管理官

国土交通省 中国地方整備局  
浜田河川国道事務所 副所長

## 2. 減災のための目標・実施方針

# 減災のための目標

## ■ 5年間で達成すべき目標

山間狭窄部に点在する小集落などの地形特性を踏まえ、各地域が連携し、住民自ら避難行動をとることが出来る「江の川下流水害に強い地域づくり」を目指す。

## ■ 目標達成に向けた3本柱の取組

目標達成に向け以下の取組を実施。

- ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組
- ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動
- ③浸水を一日も早く解消するための排水対策

# 概ね5年で実施する取組

## ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

### ■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進

- ・堤防整備等

### ■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備
- ・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

### ■想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域に基づく避難計画の見直し
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し
- ・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供
- ・夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導體制の検討
- ・江の川(下流)の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付

### ■多様な防災活動を含むタイムラインの作成

- ・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの拡充
- ・避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合防災訓練の実施

### ■防災教育や防災知識の普及

- ・江の川(下流)における浸水イメージ動画の作成・公開
- ・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知
- ・小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実
- ・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施
- ・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信

# 概ね5年で実施する取組

## ② 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

### ■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)
- ・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化

- ・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保
- ・江の川(下流)の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施
- ・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施
- ・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認
- ・市町村舎の水害時における対応について業務継続計画を策定
- ・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施

## ③ 浸水を一日も早く解消するための排水対策

### ■ 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- ・排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成
- ・排水計画に基づく排水訓練の実施

### 3. ①平成28年度の実施状況

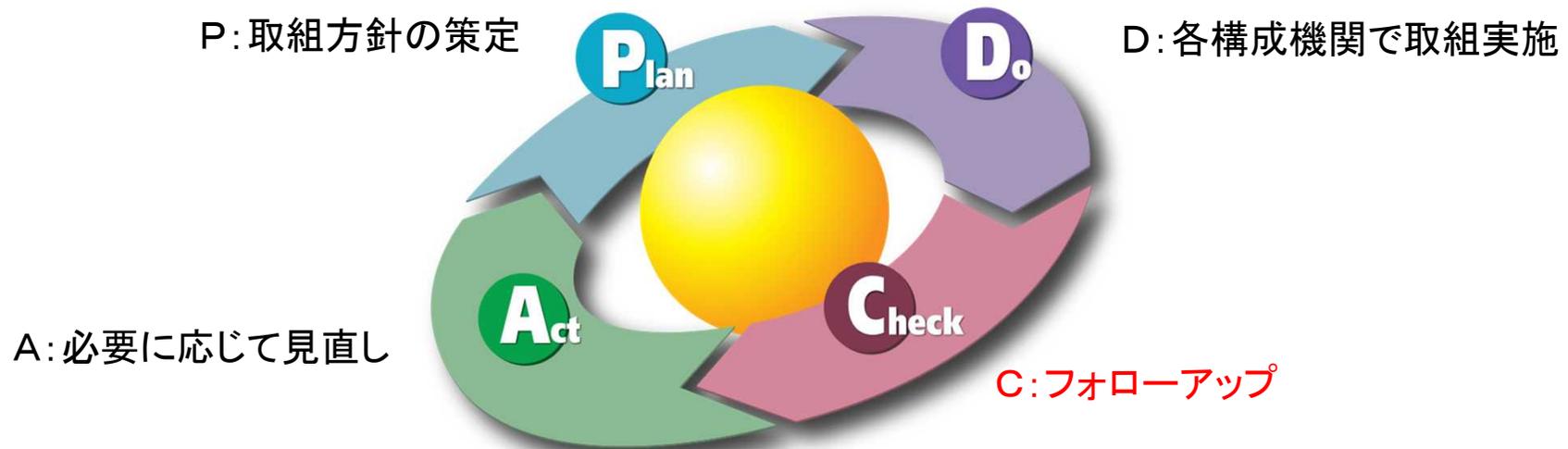
# フォローアップ

各構成機関の取組内容については、必要に応じて、防災業務計画や地域防災計画等に反映することによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に実施することとする。

今後、毎年出水期前に協議会を開催し、各取組に対する進捗状況を確認するとともに、必要に応じて取組方針の見直しを行う。

また、実施した取組についても訓練・防災教育等を通じて習熟、改善を図るなど、継続的にフォローアップを行うこととする。

なお、全国で作成される他の取組方針の内容や技術開発の動向等を収集した上で、随時、取組方針を見直すこととする。



# 平成28年度の取組経過報告(平成29年度協議会開催まで)

平成28年 4月28日 準備会

平成28年 7月 4日 平成28年度協議会  
(第1回)

... 規約(案)の確認、「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組、現状の水害リスク情報や取組状況の共有、減災の為の目標(案)、今後の進め方(案)

平成28年 7月22日 平成28年度担当者会議  
(第1回)

平成28年 8月25日 平成28年度担当者会議  
(第2回)

平成28年 9月23日、30日 平成28年度幹事会

... 江の川(下流)流域の減災に係る取組方針(案)の確認等

平成28年10月11日 平成28年度協議会  
(第2回)

... 江の川(下流)流域の減災に係る取組方針(案)

平成28年12月15日 平成28年度担当者会議  
(第3回)

平成29年 5月10日 平成29年度幹事会

... 平成28年度の実施状況、平成29年度実施予定等

平成29年 5月24日 平成29年度協議会

... 平成28年度の実施状況、平成29年度実施予定

# ○. 第1回 江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会」開催概要

## 【概要】

昨年9月に発生した関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、江の川水系(下流)においても、「水防災意識社会」の再構築に向けて、江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、松江地方気象台、国からなる協議会を設立した。

## 【決定事項】

5年間で達成すべき目標

「山間狭窄部に点在する小集落などの地形特性を踏まえ、各地域が連携し、住民自ら避難行動をとることができる**「江の川下流水害に強い地域づくり」**を目指す。」

開催日:平成28年7月4日(月)

場所:江津市役所

参加機関:江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、松江地方気象台、浜田河川国道事務所

## 【主な発言】

・江津市長:住民の避難についてはじっくり時間をかけて検討する必要があるので、住民避難に関しては今後県と国等と連携して時間をかけて策定していきたい。

・邑南町長:どのように住民に危機感を伝えるか、いかに避難が的確に出来るかが重要である。住民の意識向上に向けて議論を進めていきたい。



江の川水系(下流)減災対策協議会の状況



初めての協議会で考えを述べる江津市の山下市長(奥)

中国地方整備局が6月に江の川流域の洪水浸水想定区域を見直し、南川本、美郷町と、松江地方気象台で域自治体などが4日、構成。江津市役所で開催された初の協議会で、中

浜田河川国道事務所を踏まえ、「水害に強い地域づくり」へハード、ソフト両面の施策を情報共有し、連携を図ることを確認した。

各自治体などは、住民自ら避難行動を取れるよう、リアルタイム情報の提供や危険性の高い場所の現地確認を実施していく。

同事務所によると、新たな想定では、県内の流域で最大約18平方キロで浸水、洪水の恐れがあるという。約2800世帯、7千人が被害を受ける可能性がある。同市の山下修市長は「対策についての住民への説明も欠かせない。自治体間や県との連携を密にしたい」と話した。

(松本輝)

## 江の川流域市町が洪水対策協議会設立 施策共有へ

# ○. 第2回 江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会」開催概要

## 【概要】

7月4日に第1回協議会を開催し、設立主旨、規約、5年間で達成すべき目標「山間狭窄部に点在する小集落などの地形特性を踏まえ、各地域が連携し、住民自ら避難行動をとることが出来る「江の川下流水害に強い地域づくり」を目指す。」、目標達成に向けた3本柱の取組について賛同を頂いた。

今回は協議会規約第4条に基づき作成した、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく高津川流域の減災に係る取組方針(案)についての審議を行った。

## 【決定事項】

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく江の川(下流)流域の減災に係る取組方針

## 【主な発言】

・江津市長:しっかりと取り組みを進めるには、人材確保が必要。自治体が単独で動くのではなく、協議会が一体となることが大切。

・川本町長:市町で実施が難しい部分については、整備局で後押しをお願いします。



第2回江の川水系(下流)減災対策協議会の状況

開催日:平成28年10月11日(火)

場所:江津市役所 別館 職員会館

参加機関:江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、松江地方気象台、浜田河川国道事務所

## 住民避難など3分野

江の川水系下流の対策協

## 減災へ取り組み方針

江津市、邑南、川本、美郷町や県などをつくる江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会は11日、2020年度までの5年間で実施する減災のための取り組み方針をまとめた。「地域特性を踏まえ、

江津市、邑南、川本、美郷町や県などをつくる江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会は11日、2020年度までの5年間で実施する減災のための取り組み方針をまとめた。「地域特性を踏まえ、

住民自ら避難行動を取ることが出来る水害に強い地域づくり」と目標を設定。住民が危機を認識し、的確な避難行動への取り組み▽氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動▽浸水を一日も早く解消する排水対策▽の3分野で方針を掲げた。具体的施策としては、子どもへの水害教育や新たなハザードマップ作成、洪水リスクの高い場所への水位計整備などを示した。中国地方整備局の江の川流域の洪水浸水想定区域見直しを受けた協議会。同日、江津市役所であった会合には山下修市長、川本町の三宅実町長ら18人が出席した。山下市長は「しっかり

平成28年10月12日 中国新聞

りと取り組みを進めるには人材確保が必要。自治体が単体で動くのではなく、協議会が一体となることが大切」と述べた。(松本輝)

### 3. ②平成28年度の実施状況(代表例の紹介)

# ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

### 避難行動、水防活動等に資する基盤等の整備

#### ○洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備

【中国地整】

重要水防箇所等、洪水に対しリスクの高い箇所で監視することが出来ない箇所に簡易水位計(4箇所)を設置。  
(※設置4箇所は、和田、川本、湊、伊賀和志)



和田観測所の状況

氾濫危険水位:7.50m  
観測所地点における氾濫危険水位  
※水位センサー設置位置(-2.20m付近)以下の水位は計測できません。  
(2017/05/08(月) 20:50 測定)

-2.27 m

拡大

拡大

(簡易)港観測所 測定記録  
現在の位 -2.27 m  
氾濫危険水位:7.50m  
※水位センサー設置位置(-2.20m付近)以下の水位は計測できません。  
(2017/05/08(月) 20:50 測定)

データ履歴

番号	観測日時	水位(m)
1	2017/05/08 20:50	-2.27
2	2017/05/08 20:40	-2.27
3	2017/05/08 20:30	-2.27
4	2017/05/08 20:20	-2.27
5	2017/05/08 20:10	-2.27
6	2017/05/08 20:00	-2.27
7	2017/05/08 19:50	-2.27
8	2017/05/08 19:40	-2.27
9	2017/05/08 19:30	-2.27
10	2017/05/08 19:20	-2.27
11	2017/05/08 19:10	-2.27
12	2017/05/08 19:00	-2.27
13	2017/05/08 18:50	-2.27
14	2017/05/08 18:40	-2.27
15	2017/05/08 18:30	-2.27
16	2017/05/08 18:20	-2.27
17	2017/05/08 18:10	-2.27
18	2017/05/08 18:00	-2.27
19	2017/05/08 17:50	-2.27
20	2017/05/08 17:40	-2.27
21	2017/05/08 17:30	-2.27
22	2017/05/08 17:20	-2.27
23	2017/05/08 17:10	-2.27
24	2017/05/08 17:00	-2.27

【簡易水位計表示例(湊観測所)】

※設置した簡易水位計の情報を、関係機関に対して情報提供予定

# ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

## 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく ハザードマップの作成・周知等

○想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域に基づく避難計画の見直し 【邑南町】

### 邑南町

#### 【実施日】

平成28年9月2日 19:30～

#### 【場所】

口羽公民館ホール

#### 【対象者】

浸水想定区域に該当する、下口羽自治会、口羽町自治会、上田自治会、宇都井自治会の各自治会長及び行政協力員、該当地区の住民の皆さんを対象として実施。  
参加者40名

#### 【目的】

平成28年6月、国土交通省により江の川洪水浸水想定区域の見直しがなされ公表された。これに伴い、江の川流域の住民の皆さんを対象として、洪水浸水想定区域の見直し内容を周知すると共に、想定に対する邑南町の対応方針を説明する事を目的として実施。

#### 【説明内容】

- ①新たに浸水想定区域が公表されるに至った経緯
- ②浸水想定区域図（計画規模）の修正について
- ③浸水想定区域図（想定最大規模降雨）について
- ④浸水継続時間（想定最大規模降雨）について
- ⑤家屋倒壊等氾濫想定区域図（想定最大規模降雨）について
- ⑥これら想定に対する邑南町の対応方針について



## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 水防活動の効率化及び水防体制の強化

○江の川(下流)の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員  
や地域住民が参加する合同点検を実施 【江津市、中国地整】

### ～江津市川越地区～

江の川沿川の自治会役員の方、消防団役員、江津警察署、江津邑智消防組合、江津市の方に避難行動の理解を深めていただくため、「洪水に対しリスクの高い区間」の共同点検を実施しました。

実施日：平成28年5月18日(水)

対象地区：江津市川越地区

参加者：地元自治会、消防団、江津警察署、江津邑智消防組合、江津市、国土交通省の担当者など21名

実施内容：①川の防災情報説明

- ・江の川流域の概要やこれまでの災害について
- ・近年発生している災害に対する今後の取組など

②危険箇所の現地点検



※今後も、合同点検を行う予定。

## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 水防活動の効率化及び水防体制の強化

○水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施  
【邑南町】

6月19日羽須美地域消防団員を対象とし、水防専門家を講師に招き水防訓練を実施。

### 【実施日】

平成28年6月19日 9:00～

### 【場所】

羽須美中学校

### 【目的】

水防活動における安全の確保・技術向上を目的として実施。

### 【対象者】

羽須美地域の消防団員（口羽分団員、阿須那分団員）を対象として実施  
参加者45名

### 【訓練内容】

- ①水防活動時における注意点の説明
- ②ロープの結び方
- ③土嚢の作り方
- ④土嚢の積み方
- ⑤シート張り工法



※今後も、講習会を行う予定。

## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 水防活動の効率化及び水防体制の強化

- 備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認  
【江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、中国地整】
- 樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施  
【江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、中国地整】

- ・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法など、出水期に係る対応等について情報共有・確認する事を目的として「水防連絡会」をはじめとした会議を実施。
- ・樋門操作に関する人員の確保と操作に関する説明会の実施



【水防連絡会実施状況(H28.6)】



【樋門操作説明会状況(H28.5川本町)】

※継続して確認・情報共有等を実施予定。

### 3. ②平成28年度の実施状況(課題・改善点等)

# H28の振り返り(現状、課題)

## ○ 現状

- ・既存の取り組みで実施しても限界があった。
  - 訓練時期が秋、訓練場所が沿川地区ではない ⇒ 広義の観点では、実施している
  - 前年度に内容が決まっており、方向転換が難しい
  - 調整したが、結果として開催できない 等
- ・単独で実施する事が難しいものもあった。
  - 予算、マンパワー等で問題がある 等
- ・各機関毎で実施するため、(場所・団体等)重複する。
  - 調整の結果、場所や団体等が同じとなり偏ってしまう
  - ⇒ 調整時間が少ないと、了解を頂くために時間がかかり、結果として同じ団体等になる 等
- ・策定初年度で実施にあたり、手探りの部分が多かった。
  - 担当者会議等を複数回開催しているが、内容をイメージができない 等
- ・目標達成のために負担となる部分もあった。
  - 前年度に内容が決まっており、方向転換が難しい
  - 時間が少ないため、調整が出来なかった 等

## ● 課題

- ①各機関で実施すると、負担となる。
  - 同じ事を何回も実施すると、国 ⇒ 県 ⇒ 市町 ⇒ 地域の方等、の順で負担が増える。
  - 単独開催が難しい内容もある。(例:企業独自の防災組織でなく、地域の防災組織に属する 等)
  - 調整には時間を要する。
- ②各機関毎で実施するため、非効率となっている部分がある。
- ③策定初年度で手探りの部分が多かった。

# H29以降の実施に向けて(改善点)

H28を振り返り、

- 各機関は、5年間の目標(各地域が連携し、住民自ら避難行動をとることが出来る「江の川下流水害に強い地域づくり」)については、重要と認識。
- しかしながら、実施にあたり、現状として課題や問題点もある。

一方で、今後、県管理河川の協議会が設立。取組内容の重複が予想されるため、更なる負担増に繋がるという不安材料もある。

そのためには、各機関が連携し、目標達成に向け継続できる環境づくりが重要。

## ●各機関が目標達成に向け、(H29の改善点等として)

- 1)各機関が定期的に進捗状況や動向等、情報共有の強化を図る。
- 2)各機関と調整して効率化を図り、継続できる体制づくりを行う。
  - 例)①水防工法訓練は「●●市」、△△は「××町」等、持ち回り開催(各機関は参加する)、  
②新規取組等は、モデル機関が先行し、それを参考に順次各機関が展開する、など工夫する。
- 3)地域状況に応じた取組内容とする。
  - 例)企業向け訓練では、商工会議所等であれば、●●市は商工会議所の実施は困難のため、病院に変更 等、他の地域とは実施団体等が違っていても問題なし。

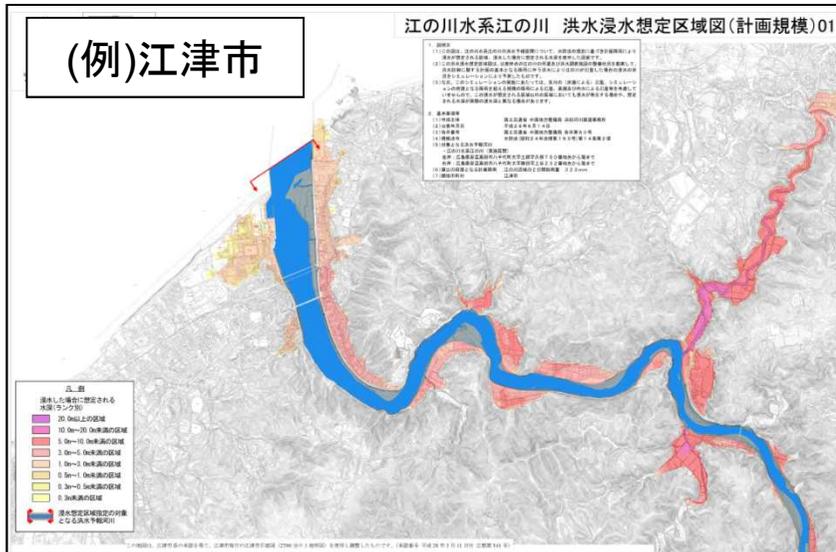
## 4. 平成29年度の実施予定

# ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

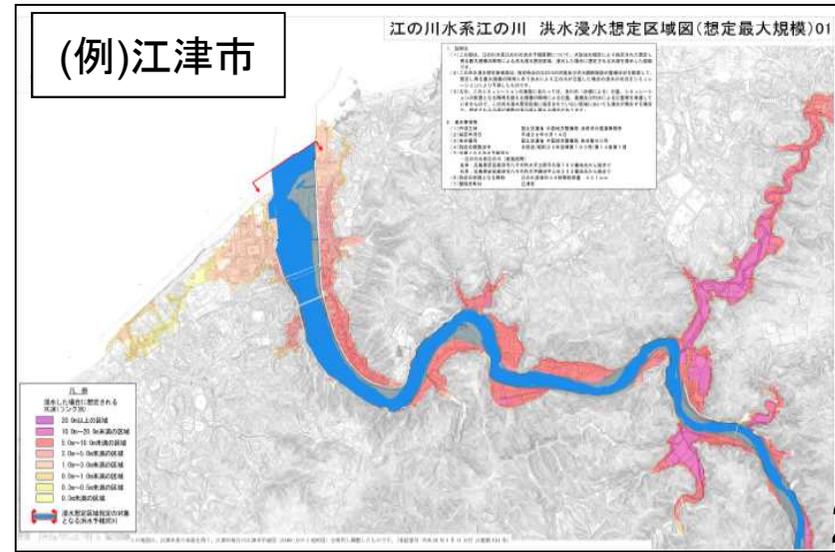
## 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく ハザードマップの作成・周知等

- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表 【H28年から検討実施: 島根県】
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付 【H28年度から順次実施: 江津市、川本町、美郷町、邑南町】
- 夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導體制の検討 【H29年度: 江津市、川本町、美郷町、邑南町】
- 江の川(下流)の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施 【H29年度から定期的に実施: 協議会全体】
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域に基づく避難計画の見直し 【H30年度: 江津市、川本町、美郷町、邑南町】
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し 【H30年度: 江津市、川本町、美郷町、邑南町】
- 洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供 【H30年度: 江津市、川本町、美郷町、邑南町】

計画規模降雨の洪水浸水想定区域図



想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域図

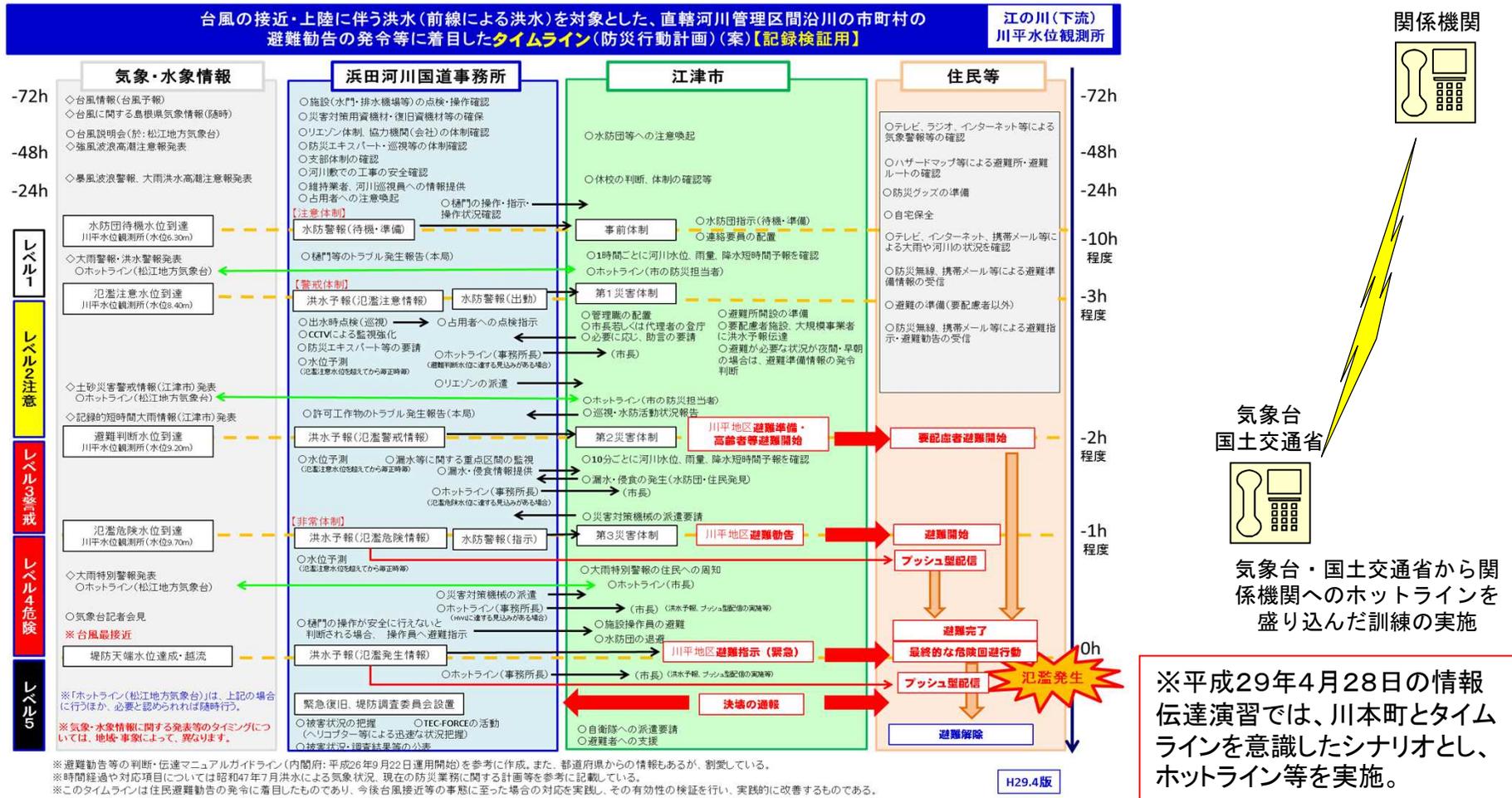


# ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 多様な防災活動を含むタイムラインの作成

○避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合防災訓練の実施

【江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、気象台、中国地整】

江津市(川平、谷住郷)、川本町(川本)、美郷町(都賀)、邑南町(大津)においてタイムラインを平成28年度末作成済



平成29年度からは、出水や訓練等で活用し、必要に応じて見直しを行う予定。

# ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 防災教育や防災知識の普及

- 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知 【H28年度から定期的実施中：中国地整】
- 江の川（下流）における浸水イメージ動画の作成・公開 【H29年度：中国地整】
- 小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実 【H29年度から順次実施：協議会全体】
- 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施 【H29年度から定期的実施：協議会全体】
- スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信 【H29年度：中国地整】



スマートフォンによるプッシュ型の洪水発信

# ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組【速報】 防災教育や防災知識の普及

○スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信

【中国地整】

緊急速報メールを活用した洪水情報の配信を平成29年5月1日から開始。

## 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成29年5月1日から、配信対象を国管理河川63水系にエリア拡大します～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から、国が管理する2河川(鬼怒川、肱川)の沿川市町村(茨城県常総市、愛媛県大洲市)において緊急速報メールを活用した洪水情報※1のプッシュ型配信※2に取り組んでいます。

平成29年5月1日から、国管理河川109水系のうち自治体や携帯電話事業者との調整等が整った63水系に配信対象をエリア拡大します。配信対象は、今後も順次拡大していきます。

※1 「洪水情報」とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

※2 「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。



### 洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

江の川水系(下流)では、川平(江津市)、谷住郷(江津市)、都賀(美郷町)にて先行配信。

### 緊急速報メールの配信タイミング



イメージ：配信タイミング②の場合



(件名) 河川氾濫発生  
(本文) 江の川(下流)の●●市●●付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ています。  
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。  
(国土交通省)

## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 水防活動の効率化及び水防体制の強化

- 消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保  
【H28年度から定期的の実施中：江津市、川本町、美郷町、邑南町】
- 江の川（下流）の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施  
【H28年度から定期的の実施中：江津市、川本町、美郷町、邑南町、中国地整】
- 備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認  
【H28年度から定期的の実施中：江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、中国地整】
- 樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施  
【H28年度から定期的の実施中：江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、中国地整】
- 水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施  
【平成29年度から定期的の実施：協議会全体】
- 市町庁舎の水害時における対応について業務継続計画の策定  
【平成29年度：江津市、川本町、邑南町】

【江津市松平地域での共同点検の実施状況(H27.12)】



消防団員と兼任する水防団員、住民との共同点検の実施



【樋門操作説明会状況(H26.5美郷町)】



樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施

## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動【速報】 水防活動の効率化及び水防体制の強化

○江の川(下流)の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員  
や地域住民が参加する合同点検を実施 【江津市、中国地整】

○樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施

【江津市、川本町、美郷町、中国地整】

江の川沿川の本町自治会の方、江津市の方と出水期  
前の堤防点検と安全利用点検を共同で実施しました。

実施日：平成28年4月17日(月)

点検箇所：河口～4k程度(左右岸)

参加者：地元自治会、江津市、国土交通省の  
担当者など9名(江津市分のみ)

実施内容：①危険箇所を含む現地点検

樋門操作に関する人員の確保と操作に関する説明会  
を実施予定。

●実施日

平成29年5月22日(月)：江津市

平成29年5月24日(水)：川本町、美郷町



市職員、住民との共同点検の実施

### ③浸水を一日も早く解消するための排水対策 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- 排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成  
【H30年度:江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、中国地整】
- 排水計画に基づく排水訓練の実施  
【H31年度から定期的に実施:江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、中国地整】

排水ポンプ車排水訓練状況  
(平成28年6月、江の川右岸(江津市渡津町))



排水ポンプ車運転状況  
(平成22年7月出水、因原箇所)



排水施設の情報提供、ポンプ車の的確な設置場所・ルート、必要な排水量(台数)、浸水エリア等の基礎的情報の入手方法を事前に計画し、緊急時の早急な対応を可能にする

※排水計画(案)が策定されるまでは、排水ポンプ車を用いた排水訓練を川本町(5/25)、江津市(6/9)実施予定。

## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 水防活動の効率化及び水防体制の強化

平成30年度は江の川下流にて水防演習を5月下旬ごろ実施予定。  
(平成29年度は、天神川(倉吉市)にて実施)

洪水から守ろうみんなの地域

守るだでえ みんなの命と 天神川

# 天神川総合水防演習

見学自由  
入場無料

平成29年 5月28日(日) 9:00~12:00 雨天決行 (ただし洪水時は中止)

会場 鳥取県倉吉市東蔵城町地先 天神川左岸河川敷(竹田橋上流)

災害発生時の活動が間近で見られる!  
水防工法の体験・災害時に役立つ情報が学べる!  
災害時に活動するヘリコプター・車両が大集合!  
ぜひご来場ください。

主催 国土交通省中国地方整備局、鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

お問い合わせ 国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所 TEL.0858-26-6221

5月28日(日) 演習スケジュール

開会式(9:00)

出水情報提供訓練(ポットラインその1)

住民への情報伝達訓練(その1)

給食訓練

要配慮者利用施設の避難訓練

河川巡視訓練

水防工法深掘り/破壊対策工

出水情報提供訓練(ポットラインその2)

住民への情報伝達訓練(その2)

住民避難・避難誘導訓練

救護所開設・救護訓練・トリアージ訓練

画像伝送訓練

道路啓開訓練

上空情報収集訓練

小学校直避難訓練

排水ポンプ車運転訓練

巡回訓練・血液輸送訓練

UAV訓練(ドローン)11:00頃

救出訓練(家庭)

救出訓練(車庫)

孤立者救助訓練(上自衛隊)11:30頃

河道閉塞水位把握訓練

閉会式(11:30)

展示コーナー 展示コーナーでは災害時に活躍する車両や防災に関するパネル展示等を行います。

### 天神川総合水防演習 3つの柱

**水防団が主役の実践的な訓練**

● 実態に即した水防工法訓練の実施

● 大雨で天神川の水位が急上昇しているという想定のもとに、実際の水防活動と同様に、土のう作りから各工法を完成させるまで一連の訓練を実施します。

● 遊歩の効果を助けたため、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町の水防団などが適切な水防活動を次々に実施していきます。

**地元住民等の参加を積極的に取り入れた訓練**

● 洪水時の情報収集や避難、水防工法訓練など、間近で見学・知る・体験

● 市長からの避難情報の伝達や警察による避難誘導など、実態に即した住民参加の避難訓練を実施します。

● 会場内の放送で、水防専門家が水防工法の仕組みや作業時の留意点を分かりやすく解説します。

● 土のう作りや水防工法の体験ができます。

**タイムラインに基づき、行政や防災機関が連携する実践的な訓練**

● タイムラインに基づき行政・防災機関と水防団、住民が互いに連携する訓練

● 住民の避難・避難誘導訓練、炊き出し訓練など、地域と連携した訓練を実施します。

● 災害時の道路啓開訓練を関係機関で実施します。

● 災害時の救助活動を想定し、トリアージ訓練を実施します。

● 消防、警察、自衛隊などの機関がヘリコプターや専用車両を駆使して、孤立者救助訓練等を実施します。

**注意事項**

● 見学スペースを広く取っていますが、大部集客が行き交い危険な場所もあります。係員の指示に従って見学ください。お子様連れの方は特にご注意ください。

● 水防工法体験に参加を希望される方は、動きやすく汚れてもよい服装で早めにご来場いただき、「受付」にお申し込みください。申し込み受付時間/9:00~10:00

● 訓練内容については変更になる場合があります。予めご了承ください。

※タイムラインとは 災害に備えて、あらかじめ市町村や防災関係機関が取るべき対応を時間軸に沿って定めた防災計画です。

天神川総合水防演習に伴い、下記の時間帯前後に交通渋滞およびヘリコプターによる騒音により、ご迷惑をおかけします。演習会場周辺の皆様には、ご理解とご協力をお願い致します。

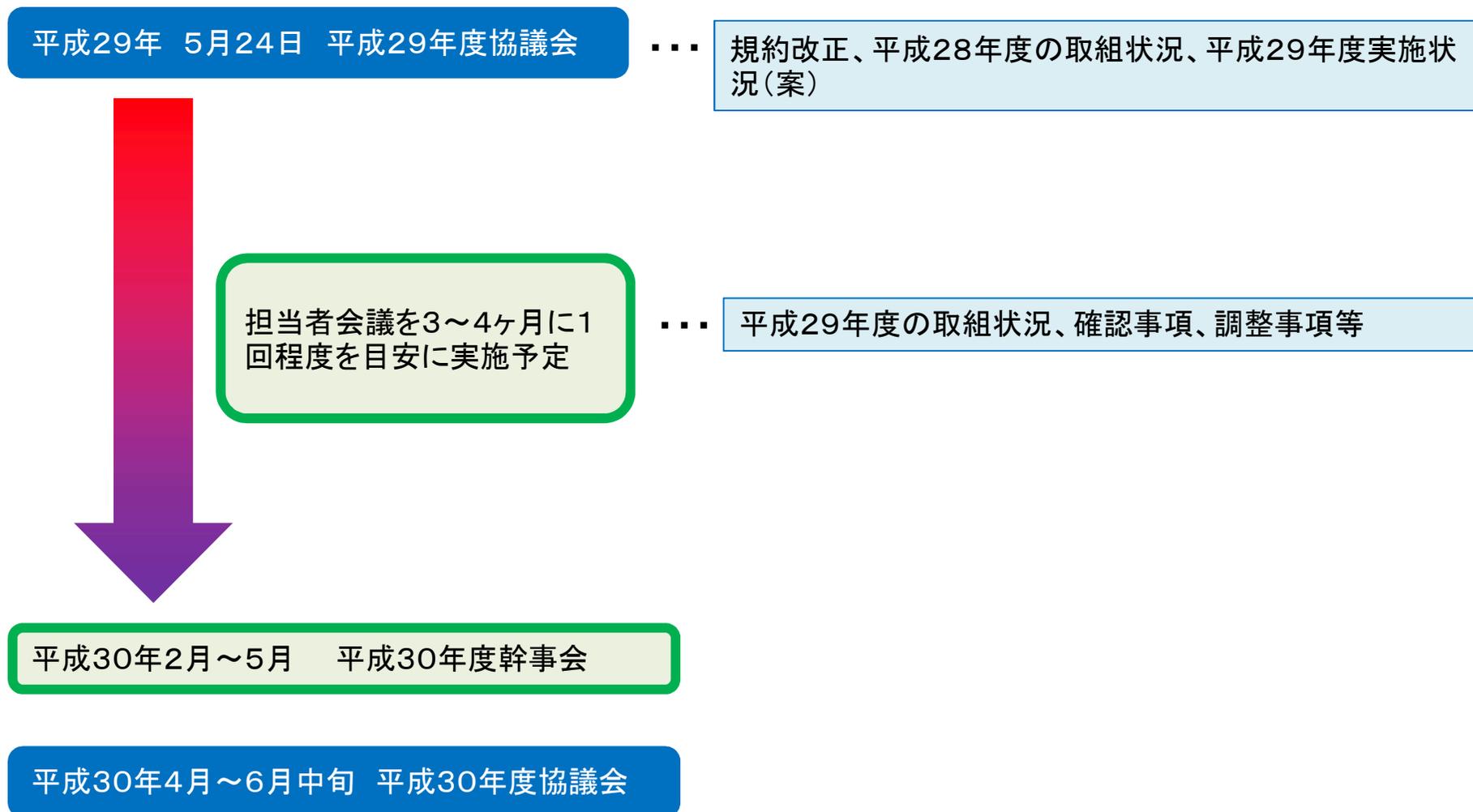
◎会場：天神川左岸河川敷 鳥取県倉吉市東蔵城町地先(竹田橋上流)

◎日時：5月21日(日) 9:00~12:00(ハルサル) 5月28日(日) 9:00~12:00(本番)

水防演習(H30. 5)までに、水防工法技術を習得するための講習会を実施予定。

## 4. 今後のスケジュール

# 今後のスケジュール(案) (平成30年度協議会開催まで)



※スケジュール(案)は一般的なものであり、状況に応じて協議会等の追加開催や日程変更もある。